3-283-288-**03**(1)

ワイヤレススピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-BT100

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

➡ ❶ **電源を切る**
❷ **ACパワーアダプターをコンセントから抜く**
❸ **ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

目次

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

指定以外のACパワーアダプターを使わない

必ず指定のACパワーアダプターを使用してください。

破裂や過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや炎天下などへ放置しない

⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

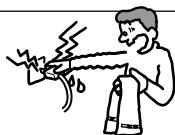
内部に水や異物を入れない

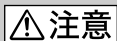
水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

雷が鳴りだしたら、ACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ミニディスク、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

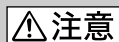
本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。

本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

長時間使用しないときはACパワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のためACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

お手入れの際、ACパワーアダプターを抜く

ACパワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

Bluetooth機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。
- 本機を分解／改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。

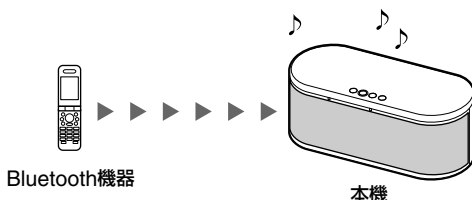
Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、ソニーはライセンスに基づき使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

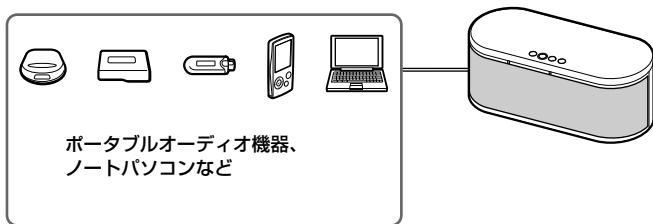
こんなことができます

本機は、Bluetooth®（ブルートゥース）無線技術を利用したワイヤレススピーカーシステムです。

- Bluetooth対応音楽プレーヤー（携帯電話、デジタルミュージックプレーヤー、Bluetoothトランスミッターを接続したデジタルミュージックプレーヤー、パソコンなど）*[1]の音楽をワイヤレスで楽しむことができます。
- 周囲の電波の影響による音切れが発生しにくいBluetooth標準規格Ver.2.0＋EDR採用。
- 実効出力30Wのハイパワーデジタルアンプにより、高音質かつ大迫力のサウンドを再現します。
- Bluetooth無線技術に対応していないオーディオ機器とつなぐことのできる1アナログ入力装備。
- テレビの側に置いても画面に影響を与えることが少ない防磁設計（防磁型/JEITA*[2]）。

Bluetooth無線技術で接続し、ワイヤレスで音楽を楽しむ

Bluetooth対応音楽プレーヤー（携帯電話、デジタルミュージックプレーヤー、Bluetoothトランスミッターを接続したデジタルミュージックプレーヤー、パソコンなど）*[1]から送信されたステレオオーディオ信号を受信し、音楽をワイヤレスで楽しむことができます。

INPUT端子に有線で接続し、ワイヤードで音楽を楽しむ

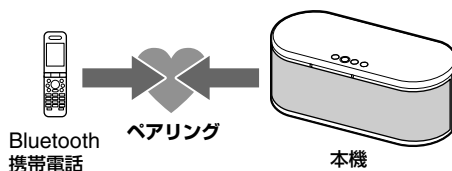
INPUT端子に接続した機器からの音楽を楽しめます。

*[1] 接続するBluetooth機器が、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）に対応している必要があります。

*[2] JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。

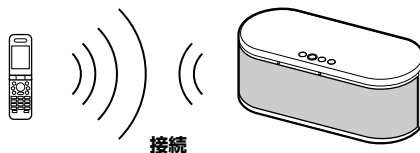
Bluetooth接続で使う

ここでは、音楽再生機能に対応したBluetooth携帯電話から送信する音楽を本機で受信して聞く場合を例として説明します。

ペアリングする

Bluetooth携帯電話と本機を接続相手として登録します。

詳しくは15ページと16ページをご覧ください。

Bluetooth接続する

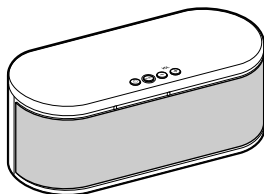
Bluetooth携帯電話を操作して、本機を検索しBluetooth接続します。

音楽を聞く

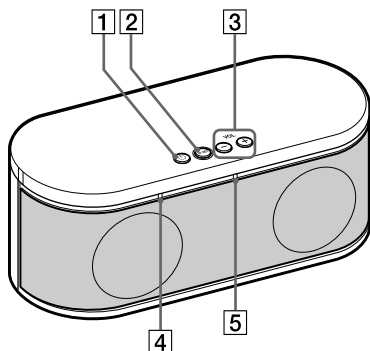
Bluetooth携帯電話で再生した音楽を、本機で楽しめます。

詳しくは16ページをご覧ください。

本体と付属品を確かめる

本機をお使いになる前に、すべてそろっているか確かめてください。

- ワイヤレススピーカーシステム（1）

- ACパワーアダプター（1）
- ACパワーコード（1）
- 取扱説明書（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）

各部の名前とはたらき

1 ⏻（電源）ボタン

本機の電源を入れるときに押します。本機の電源を切るときは、押したままにします。

2 ID SET（ペアリング）ボタン
（アイディーセット）

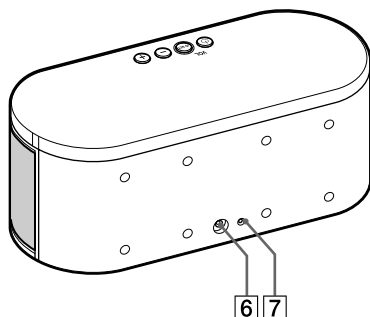
他のBluetooth機器とペアリングするときに使います。

3 VOLUME（音量）+/–ボタン
（ボリューム）

音量を調節します。

音量を最小または最大にしたときは、ビープ音が鳴ります。

4 電源ランプ（緑）

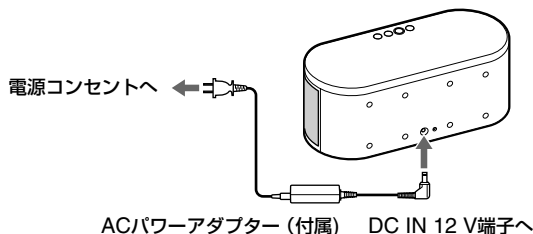
5 通信状態表示ランプ（青）

6 DC IN 12 V端子
（ディーシーイン）

付属のACパワーアダプターをつなぎます。

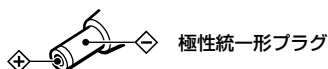
7 INPUT（音楽入力）端子
（インプット）

パソコンや、ポータブルオーディオ機器などのヘッドホン端子につなぎます。

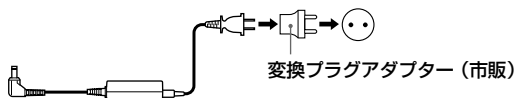
電源について

付属のACパワーアダプターを本機に接続します。

ご注意

- ACパワーアダプターを抜き差しする前に電源をお切りください。電源を入れたまま抜き差しすると、誤動作の原因になる場合があります。
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。付属以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
- 火災や感電の危険をさけるために、ACパワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、ACパワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。

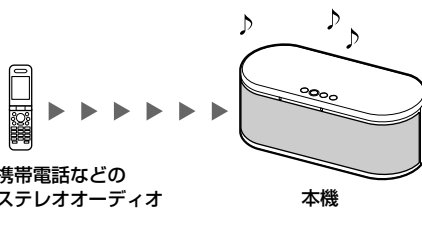
海外で使うときは

付属のACパワーアダプターは、AC100～240 V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前に旅行代理店などでお確かめください。

ご注意

海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器（トラベルコンバーター）」などはご使用にならないでください。故障の原因となることがあります。

Bluetooth接続で使う

Bluetooth接続により、Bluetoothステレオオーディオ再生機器で再生する音楽をワイヤレスで楽しめます。

ご注意

接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングとは

Bluetooth機器では、あらかじめ、接続しようとする機器を登録しておく必要があります。この登録のことをペアリングといいます。
一度ペアリングすれば、再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
- 9台以上の機器をペアリングしたとき。
  本機は合計8台までのBluetooth機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台のなかで最後に接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 本機を初期化したとき。
  すべてのペアリング情報が消去されます。（23ページをご覧ください）

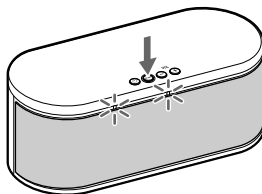
ペアリングの手順は、15ページをご覧ください。

本機のランプ表示について

状態	電源ランプ（緑）	通信状態表示ランプ（青）
電源オン	点灯	消灯
ペアリングモード	点滅	点滅
接続中および伝送中	点灯	点灯

ペアリングする

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。
– 本機が電源に接続されている。

1 ID SETボタンを7秒以上押し続ける。

本機の電源ランプ（緑）と通信状態表示ランプ（青）が同時に点滅し始めたらボタンを放してください。本機がペアリングモードになります。

ご注意

本機のペアリングモードは、約5分で解除されます。手順が完了する前に本機のペアリングモードが解除されてしまった場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

2 Bluetoothステレオオーディオ再生機器でペアリング操作を行い、本機を検索する。

検出した機器の一覧がBluetoothステレオオーディオ再生機器の画面に表示されます。本機は「SRS-BT100」と表示されます。
「SRS-BT100」と画面に表示されない場合は、もう一度手順**1**から操作を行ってください。

ご注意

- ペアリングするときは、両方のBluetooth機器を、1 m以内に置いてください。
- 機器によっては検出した機器の一覧を表示できない場合があります。

3 Bluetoothステレオオーディオ再生機器の画面に表示されている「SRS-BT100」を選択し、決定する。

4 Bluetoothステレオオーディオ再生機器の画面でパスコード*の入力を要求されたら「0000」を入力する。

* パスコードは、パスキー、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

次のページにつづく

5 **接続相手のBluetooth機器からBluetooth接続してみる。**

お使いの機器によっては、ペアリングが完了すると自動的にBluetooth接続を開始する場合があります。

正しく接続できると、電源ランプ（緑）と通信状態表示ランプ（青）が両方とも点灯し、ペアリング情報が本機に記録されます。

ご注意

Bluetooth接続が完了する前に本機またはBluetoothステレオオーディオ再生機器の電源を切った場合、ペアリング情報が記録されず、ペアリングが完了しません。

検出した機器の一覧を表示できないBluetoothステレオオーディオ再生機器や画面がない機器とペアリングするときは

本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器の両方をペアリングモードにすることでペアリングできる場合があります。詳しくは、お使いのBluetooth機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ペアリングが完了しないときは

もう一度手順**1**から行ってください。

ヒント

複数のBluetooth機器とペアリングするには、ペアリングしたい機器ごとに手順**1**～**5**を繰り返してください。

ご注意

本機のパスコードは「0000」に固定されています。パスコードが「0000」でないBluetoothステレオオーディオ再生機器とペアリングすることはできません。

音楽を聞く

本機はSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、本機で聞くことができます。

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

– Bluetoothステレオオーディオ再生機器のBluetooth機能が有効になっている。
– 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器のペアリングが完了している。
– 本機のINPUT端子につないだ外部機器の音楽を聞いていた場合は、再生を止めるか、外部機器の電源を切る。

1 **本機の⏻ボタンを押して電源を入れる。**

2 **Bluetoothステレオオーディオ再生機器から本機へ、Bluetooth接続を開始する。**

3 Bluetoothステレオオーディオ再生機器で再生を始める。

ご注意

バスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると音がひずむことがあります。

4 音量を調節する。

Bluetoothステレオオーディオ再生機器を適度な音量にして、本機のVOLUME +/–ボタンで調節します。

ご注意

音量を最小または最大にしたときは、「ピピッ」というビープ音が聞こえます。

ご注意

- 以下の場合、もう一度Bluetooth接続をする必要があります。
  – 本機の電源が切れている。
  – Bluetoothステレオオーディオ再生機器の電源が切れている、またはBluetooth機能が無効になっている。
  – 本機またはBluetoothステレオオーディオ再生機器のBluetooth機能がスリープ状態になっている。
  – Bluetooth接続が切断されている。
- 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器がBluetooth接続されている場合（電源ランプ（緑）と通信状態表示ランプ（青）が両方とも点灯している場合）、INPUT端子に接続した機器からの音楽は聞こえません。INPUT端子に接続した機器からの音楽を聞くときはBluetooth接続を切断してください。

使い終わるには

以下の手順のいずれかでBluetooth接続を切断してください。

－Bluetoothステレオオーディオ再生機器を操作して接続を切断する。詳しくは、機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

－Bluetoothステレオオーディオ再生機器の電源を切る。

－本機の電源を切る。

ヒント

AVRCP (Audio Visual Remote Control Profile) VOLUME UP/DOWN に対応したBluetoothステレオオーディオ再生機器と接続してお使いの場合は、Bluetoothステレオオーディオ再生機器から本機の音量を調節できます。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

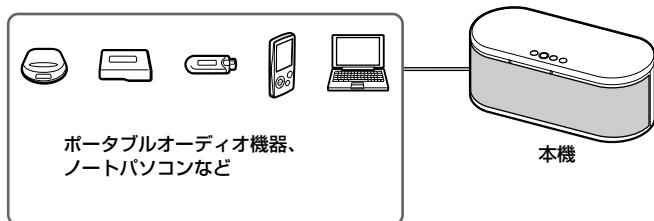
ご注意

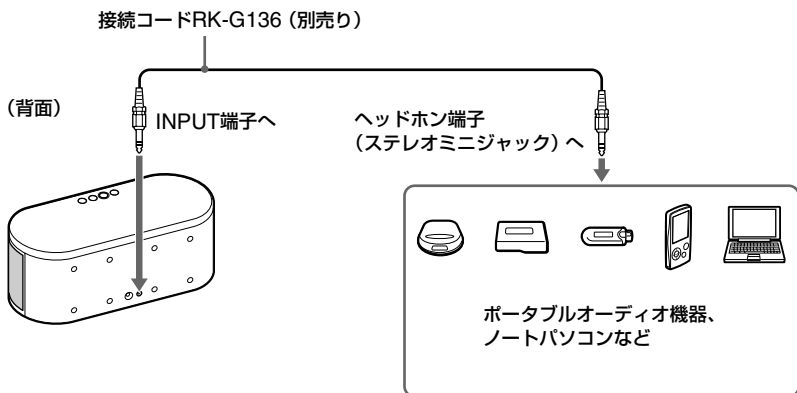
お使いの機種によっては、本機の音量を正しく調節できない場合があります。

INPUT端子に接続して使う

INPUT端子に接続した機器からの音楽を楽しめます。

接続例

ご注意

接続する機器の使いかたについて詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

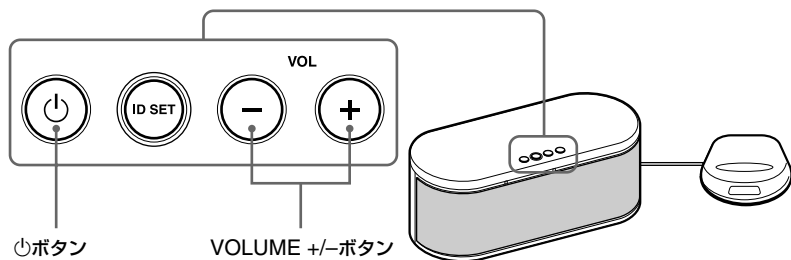
接続する

1 別売りの接続コードRK-G136で、接続したい機器のヘッドホン端子と本機のINPUT端子を接続する。

右スピーカーから音が出ないときは

モノラルジャックに接続したときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-236MSを使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック（カセットデッキなど）に接続するには

別売りの接続コードRK-G136およびプラグアダプターPC-234S、または別売りの接続コードRK-G136およびRK-G138をお使いください。

音楽を聞く

操作をはじめる前に、以下の点をご確認ください。

－Bluetoothステレオオーディオ再生機器の音楽を聞いていた場合は、Bluetoothステレオオーディオ再生機器との接続を切る。

1 本機の⏻ボタンを押して電源を入れる。

2 接続した機器を再生する。

3 音量を調節する。

接続した機器を適度な音量にして、本機のVOLUME +/–ボタンで調節します。

ご注意

音量を最小または最大にしたときは、「ピピッ」というビープ音が聞こえます。

4 使用後は、⏻ボタンを押したままにして電源を切る。

電源ランプが消灯します。

次のページにつづく

ご注意

- ラジオまたはチューナーを内蔵した機器に接続した場合、ラジオ放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下する場合があります。
- 接続する機器のバスブースト機能やイコライザー機能は無効にしてください。これらの機能が有効になっていると、音がひずむことがあります。
- ヘッドホンジャックがLINE OUT端子を兼用している機器に接続した場合は、接続機器の出力をLINE OUT出力に設定することで、より高音質でお楽しみいただけます。出力設定の操作について詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器がBluetooth接続されている場合（電源ランプ（緑）と通信状態表示ランプ（青）が両方とも点灯している場合）、INPUT端子に接続した機器からの音楽は聞こえません。INPUT端子に接続した機器からの音楽を聞くときはBluetooth接続を切断してください。

正しくお使いいただくために

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。

- Bluetooth通信は以下の状況において、通信感度に影響を及ぼすことがあります。
  – 本機とBluetooth機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
  – 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
  – 金属製の棚の中に本機を設置している場合
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
  – 本機と携帯電話を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
  – 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
  – 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および携帯電話の電源を切ってください。
  – 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
  – 自動ドアや火災報知機の近く
- 本機は、Bluetooth技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機はすべてのBluetooth機能対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
  – 接続するBluetooth機能対応機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  – 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

次のページにつづく

携帯電話と使用する場合のご注意

- 本機と携帯電話をBluetooth接続しても、通話に使用することはできません。
- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意

安全について：

付属のACパワーアダプターをお使いになるときは、家庭用電源コンセント（AC 100～240 V）につないでお使いください。

ACパワーアダプターについて：

ACパワーアダプターを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずACパワーアダプターを持って抜いてください。

留守にするときは：

本機の⏻ボタンを押しただけでは、電源は完全に切れていません。
ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ずACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャック部には異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中に入ったときは、すぐにACパワーアダプターを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）。
  - 風呂場など、湿気の多い所。
  - ほこりの多い所、砂地の上。
  - 時計、キャッシュカードなどの近く。（防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。）
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。
- キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型（JEITA）のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

その他のご注意

他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

本機を初期化する

本機を工場出荷時の設定に戻し、すべてのペアリング情報を削除します。

1 本機の電源が入っている場合は、⏻ボタンを押したままにして電源を切る。

2 ⏻ボタンを押したまま、ID SETボタンを7秒以上押し続ける。

電源ランプ（緑）と通信状態表示ランプ（青）が同時に4回点滅し、本機が工場出荷設定に戻ります。すべてのペアリング情報が削除されます。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、ソニーの相談窓口にお問い合わせください。

共通

音が出ない

➡ 本機と再生機器の電源が入っているか確認する。
➡ 本機の音量を上げる。
➡ 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。

音が小さい

➡ 再生機器の音量を音がひずまない範囲でできる限り大きくする。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ 本機の音量を上げる。

音がひずむ

➡ 再生機器の音量を音がひずまなくなるまで下げる。音量の調節については、再生機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
➡ 再生機器のバスブースト機能を無効にする。
➡ 本機の音量を下げる。

音が割れる、またはノイズが出る

➡ 本機と再生機器を正しく接続しているか確認する。
➡ 再生機器をテレビに近すぎる所に設置していないか確認する。

電源ランプがちらつく

➡ 音量を上げたときに電源ランプがちらつくことがありますが、故障ではありません。

Bluetooth接続で使用したとき

音が出ない

➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器の距離が離れすぎていないか、無線LANや他の2.4 GHz無線機器や電子レンジなどの影響を受けていないか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器を正しくBluetooth接続しているか確認する。
➡ 本機とBluetoothステレオオーディオ再生機器を再度ペアリングする。

音が途切れたり、通信距離が短い

➡ 無線LANや他のBluetooth機器、電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れてご使用ください。
➡ 本機とBluetooth機器との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
➡ 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。
➡ 本機の位置を変える。
➡ 接続相手のBluetooth機器の位置を変える。

ペアリングできない

➡ 本機とBluetooth機器をできるだけ近付ける。

映像より音が遅れる

➡ テレビやDVDを見ている場合、音が映像より遅れて聞こえる場合があります。

Bluetooth技術について

Bluetooth無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m程度までの距離で通信を行うことができます。必要に応じて2つの機器をつなげて使うのが一般的な使い方ですが、1つの機器に同時に複数の機器をつなげて使う*こともあります。
無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。
Bluetooth規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

* 本機では一度に複数の機器を接続することができません。

Bluetooth機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。本機は下記のBluetoothバージョンとプロファイルに対応しています。

対応Bluetoothバージョン：
Bluetooth標準規格Ver. 2.0準拠

対応Bluetoothプロファイル：
– A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）
– AVRCP (Audio Visual Remote Control Profile) VOLUME UP/DOWN

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではワイヤレススピーカーシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

スピーカー部

型式
フルレンジバスレフ型　防磁型（JEITA*1）

使用スピーカー
直径90 mm

インピーダンス
4 Ω

定格入力
15 W

最大入力
30 W

アンプ部

実効出力
15 W+15 W（全高調波歪10 %、1 kHz、4 Ω）（JEITA*1）

音質補正回路
MEGA BASS回路

入力
ステレオミニジャック×1

入力インピーダンス
4.7 kΩ（1 kHz）

電源部・その他

電源
DC 12 V（付属のACパワーアダプターを接続してAC100～240 V電源から使用）

最大外形寸法
約400×160×175 mm（幅／高さ／奥行き）

質量
約2.5 kg

通信方式
Bluetooth 標準規格Ver.2.0+ EDR

出力
Bluetooth 標準規格Power Class2

使用周波数帯域
2.4 GHz 帯 (2.4000 GHz～2.4835 GHz)

最大通信距離
見通し距離約10 m*2

対応Bluetoothプロファイル
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) *3
AVRCP (Audio/Visual Remote Control Profile)VOLUME UP/DOWN

対応コーデック*4
SBC*5, MP3

対応コンテンツ保護（受信時）
SCMS-T方式

付属品

ACパワーアダプター（1）
ACパワーコード*6（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）

*1 JEITAは電子情報技術産業協会の略称です。
*2 通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。
*3 Bluetoothプロファイルとは、Bluetooth製品の特性ごとに機能を標準化したものです。
*4 音楽圧縮変換方式のこと
*5 Subband Codecの略
*6 付属のACパワーコードは本機専用です。他の機器ではご使用になれません。

別売りアクセサリー

プラグアダプター：PC-234S（ステレオ標準プラグ↔ステレオミニジャック）、
PC-236MS（ミニプラグ↔ステレオミニジャック)
接続コード：RK-G129（ステレオミニプラグ↔ピンプラグ)、RK-G136（ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ（1.5m)、RK-G138（ステレオ2ウェイプラグ↔ステレオミニジャック）

本機はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソニーの相談窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

ホームページで調べるには

➡ AV 関連商品・アクセサリー カスタマーサポートへ
（http://www.sony.co.jp/av-acc）
Bluetoothアクセサリー商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

電話・FAX でのお問い合わせは

➡ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）
お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

セット本体に関するご質問時：
- 型名：SRS-BT100
- 製造（シリアル）番号：本体底面のラベルに記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

接続に関するご質問時

質問の内容によっては、本機に接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-333-020 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511	フリーダイヤル ・・・・・・・・・・・・・0120-222-330 携帯電話・PHS・一部のIP電話 ・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in Malaysia

* 3 2 8 3 2 8 8 0 3 * (1)